

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 鈴木 聖三
幹事 太田 和孝
公認イメージ委員会 榎尾 富二

No. 6

インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION

2018～2019年度

RI会長
バリー・ラシン

今日の例会

第1697回 平成30年 8月 28日 (火)
村井 総一郎 ガバナー公式訪問
守山・千種 2RC 合同例会
ホテルナゴヤキャッスル「シャンポール」
本社：名古屋千種 RC

国際ロータリー第2760地区
2018-19年度

村井 総一郎 (むらい そういちろう) ガバナー紹介



生年月日 1951年(昭和26年)11月28日
所属クラブ 豊橋ロータリークラブ
職業分類 種こうじ製造
勤務先・役職 株式会社ピオック代表取締役会長
所在地 豊橋市牟呂町内田111-1

【ロータリー歴】

1992年8月 豊橋ロータリークラブ入会
2001-02年度 社会奉仕委員長
2002-03年度 S. A. A.
2004-05年度 副幹事
2005-06年度 クラブ幹事
2010-11年度 クラブ会長
2011-12年度 R財団委員長
2016-17年度 S. A. A.

2004-05年度 地区IT委員
2008-10年度 地区職業奉仕委員
2010-12年度 地区職業奉仕副委員長
2012-14年度 地区職業奉仕委員長
2014-15年度 地区職業奉仕委員
2016-17年度 地区戦略計画委員
2017-18年度 第2760地区 ガバナーエレクト

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
メジャードナー
ベネファクター
米山功労者

【経歴・公職】

1974年 東京農業大学醸造学科卒業
1974年 国税庁醸造試験所研修
1976年 (株)靴屋三左衛門入社
1987年 (株)靴屋三左衛門代表取締役社長
1991年 (株)靴屋三左衛門当主承継(28代)
1992年 (株)ピオック設立代表取締役社長
2014年 (株)ピオック代表取締役会長
2014年 (株)靴屋三左衛門取締役会長

気象予報士
ピオトップ管理士
理学博士

地区方針

『あなたの街でロータリーを！
あなたの街からロータリーを！』
-ロータリーの奉仕の理念を学び、奉仕の実践をしよう-

《活動の内容》

- 分区内交流活動を奨励します
- 工夫した例会を開催しましょう
- ポリオ撲滅に貢献する活動をしましょう
- 会員増強を行いましょ
- ロータリーデーを楽しみましょう
- ロータリー賞へ挑戦しましょう
- 国際大会(ドイツ ハンブルク)に参加しましょう

先回の例会

第1696回 平成30年8月21日(火)晴
友愛の日

◆我らの生業

◆四つのテスト

◆ゲスト紹介

会長ゲスト アラック保険サービス(株) 川本 裕之 様
青少年交換派遣生 河合 里咲さん
米山奨学生 イム・セウォンさん

◆出席報告

正会員 36(31)名 出席 27名
出席率 87.10 %
前々回 7/31 (修正出席率) 87.50 %

お誕生日おめでとうございます ♪

☆9月会員誕生日お祝い

谷口 優君(9/5) 三好 親君(9/6)
大口 弘和君(9/26)

☆9月ご夫人誕生日お祝い

笹野 義春夫人(9/16) 足立 一郎夫人(9/21)
山本 眞輔夫人(9/28)



太田幹事報告

1) 次週は、ガバナー公式訪問で名古屋守山 RC さんとの合同例会、ホテルナゴヤキャッスル1F シャンボールが例会場になります。
当クラブがホストでもありますので時間厳守でお願い致します。

鈴木会長挨拶



猛暑から暑さが収まり、涼しくなり始める処暑の季節に入りました。
さて、今日は、「とりあえずビール」の話の第2弾です。そもそも日本では、古くから、日本酒をたしなんできましたが、ビールがその日本酒の消費を追い越したのは、昭和34年のことです。「とりあえずビール」の言葉が流行りだしたのもそのころで、所得倍増計画、高度成長、いずれも今の時代にはうらやましい経済用語ですが、そういった時代の中でビールが飲まれていったということになります。

ところで、ビールにとっては少々ほろ苦い話になりませんが、税金の話です。ビールに税金がかかるようになったのは、明治34年のことですが、今、350ミリリットルのビール缶のうち、どのくらい税金を払っているかといえますと、1本100円で換算すると46円、半分弱が税金ということです。税金とは、酒税と消費税のことです。先日も酒税の体系が変わるということで新聞紙上ににぎわしていましたが、よくよく見てみると8年後の2026年まで段階的に変更されるというもので、その8年後でも1/3が税金のようです。

ビールにとってほろ苦い話をもうひとつ。スーパーのアルコール売り場へ行くと、所狭しとばかり、いろいろな銘柄のビールが並べてありますが、ビールの消費量は右肩下がりで、20年前と比べると7割くらいの水準となっています。「若者のビール離れ」「嗜好の多様化」「社会の変化」等々、いろいろな見方がされていますが、一人当たりのアルコール消費量も20年前の8割くらいの水準で、日本人の飲酒量そのものも減っているようです。

そんな中で、時代は繰り返すのか、歴史は繰り返すのか、表現は別にして、私が学生時代に飲んだハイボールやニッカウイスキーが、女性も含めて、若い人たちの間で人気となっています。ウイスキーは、銘柄によっては品切れ状態だといえます。これは、ウイスキーの原酒を作るのにすいぶん年月がかかるそうですが、一方、需要の方は、世界的なウイスキーブームや嗜好の多様化を背景として、ウイスキーメーカーのプロモーションやNHKの朝ドラ「マッサン」によって一気に人気が高まってしまったことがあるようです。とはいうものの、いつの間にか、若い人の中では、あるいは会社の中では、酒を飲みながらコミュニケーションを図るということを見かけることが少なくなりました。いささか現実的な話になりましたが、福沢諭吉は、アメリカで、いろいろな人たちがビールを飲みながら胸襟を開いて語り合っている姿を見て感銘を受けたといわれています。
千種ロータリーの皆様方とは、「とりあえずビール」の季節を楽しみながら、コミュニケーションを図ってまいりたいと思います。



◆米山奨学生 ^{イム セウォン} 林 世原 さんへ8月分奨学金授与



皆さんこんにちは、
2週間くらい前に北海道に行ってきました。私は海産物には興味がないので、ほぼ毎日ジンギスカン食べていました。メロンも好きでメロンもいっぱい食べてきました。
一番印象に残っているのが「青い池」

です。私が行っている間はずっと雨が降っていたので景色はそんなに綺麗ではなかったのですが、「青い池」は、むしろ雨が降っているからこそもっと綺麗で、記憶に残っています。
たぶん自分にとってこれが最後の夏休みなので、悲しいですが、まだ残っている夏休みを楽しみたいと思っています。

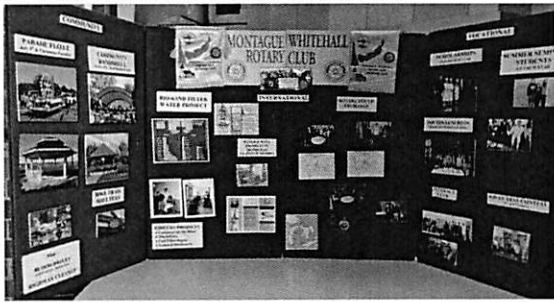
◆青少年交換派遣性 ^{かわいりさ} 河合 里咲さんより帰国挨拶



青少年交換 2017-18 年度 6290 地区
アメリカのセントラルステーツに
派遣されていました河合里咲です。
私がいた RC はモンタギューホワイ
トホールというクラブで、町の人口
はかなり少なく 4,000 人ほどで、RC
の人数も 70~80 名程です。毎週火

曜日に例会をしています。町の特徴としては、畜産、農
産業が主な産業のようです。

1 年間、皆様にサポートをして頂いたお陰で、特別な
時間を楽しめました。ありがとうございました。これか
らは帰国生 ROTEX として、今年度来る INBOUND の方
遣や派遣候補生のサポートが出来たらいいなと思いま
す。今後ともよろしくお願い致します。



年次総会

- ①過年度の事業報告・決算報告の件
- ②今年度の事業方針・予算の件
会員挙手により承認されました

ニコボックス

萩原 喜代子

2008 年度会長をつとめられました久野先生が、先週
旅立たれました。その年、幹事としてご一緒させて頂
きました。改めまして厚く御礼申し上げます。
とても楽しい 1 年間でした。久野先生のご冥福を心よ
りお祈り申し上げます。

伊藤 健文

私の門下展「松風会書展」を今週中やっております。
宮尾さん、小山さんの奥様も出品しております。
ご高覧お願いします。昌石

小山 雅弘

ホームクラブご無沙汰しました。

鍋野 可幸

次回の例会は名大病院の診察日に当り、欠席させて戴
きます。

鈴木 聖三

川本様をゲストでお連れしました。期待しています。

渡邊 源市

先週末、長女が勉強している岩手に行ってきました。

谷口 優

会員誕生日お祝い

足立 一郎

ご夫人誕生日お祝い

笹野 義春

ご夫人誕生日お祝い

山本 眞輔

ご夫人誕生日お祝い

朝倉 寿宜

福井 浩道

林 永芳

堀江 宏輝

池森 由幸

加藤 重雄

河合 隆史

牧野登志子

太田 和孝

大谷 恩

志水ひろみ

舎人 経昭

碓氷 美佳

和田 正敏

余語 秀章

吉田 玄

青少年交換派遣生の河合里咲さん

ようこそお越し下さいました

26 件合計 91,000 円

《9月の例会内容のお知らせ》

9月4日(火) 12:30 ホテルナゴヤキャッスル
2F 金の間

◎卓話 「顔認証と AI 研究の今」
中京大学名誉教授 YYC ソリューション代表
興水 大和 様

9月11日(火) 例会変更 ⇒ 18:00 松楓閣
◎夜間例会

9月18日(火) 12:30 ホテルナゴヤキャッスル
2F 金の間

◎卓話 弁護士(元会員) 油田 弘佑 様

9月25日(火) 12:30 ホテルナゴヤキャッスル
2F 金の間

◎友愛の日 *例会後 理事役員会

次回例会 平成 30 年 9 月 4 日(火) 12:30 ホテルナゴヤキャッスル 2 階 金の間
卓話: 「顔認証と AI 研究の今」 中京大学名誉教授 YYC ソリューション代表 興水 大和 様

【(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース より】

★ ハイライト よねやま 221号 ★

2018年8月14日発行



今月のトピックス

- ・2019年4月採用米山奨学生の募集を開始
- ・寄付金速報 — 2018-19年度も好調にスタート —
- ・日台インターアクト交流、米山学友が懸け橋に
- ・モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金
- ・ウイグル出身の米山学友らが西日本豪雨被災地へ

《今月のピックアップ記事》

モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金

「平成30年7月豪雨」は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。このニュースに心を痛めたモンゴル米山学友会では、3月に就任したばかりのオイドブ・バトゲレル会（2005-07/前橋RC）が中心となり、会員に義援金を呼び掛けました。7月20日、同学友会を代表して、創立会長のジャンチブ・ガルバドラッハさんと第3代よねやま親善大使のエンフボルド・ポロルトヤさんが当会事務局を訪問。今なお避難生活を送る被災者や復興のために尽力する方々を気遣い、「被災された皆さまのために少しでも役立てていただけたら」との気持ちを綴ったお見舞いの手紙と共に、モンゴル学友36人からの義援金14万9,050円を届けてくれました。義援金は全額、第2710地区（広島県・山口県）に送金しました。

日台インターアクト交流、米山学友が懸け橋に

8月2～5日、第2660地区（大阪府）インターアクトが海外研修のため台湾を訪問し、第3461地区（台湾）インターアクトと交流をしました。同地区インターアクトは毎年、海外研修を行っています。今回、多くの米山学友が会員として所属する台中文心RCとの協議を重ねるなかで、初の台中訪問が実現。第3461地区から15校145人、第2660地区から10校55人のインターアクター、両地区のロータリアンが総勢330人以上参加する交流会となりました。日台インターアクター共同での奉仕活動のほかそれぞれが自国の文化紹介やダンスなどの発表をし、最後には大きな輪になって全員が盆踊りを踊りました。第3461地区の張光雄ガバナーは「とても良い勉強の機会になったと思う。日台の学生の情熱を感じることができた。初の交流が大成功だったと思う」と述べ、第2660地区インターアクト委員長中野隆二氏も、「米山奨学会の長年の取り組みの一つの成果だと思う。一朝一夕にはできない事。先輩のロータリアン達に感謝している」と、感想を語ってくださいました。（取材協力：ガバナー補佐エレクト、元地区米山奨学委員長 福田治夫氏）

全文は、こちらよりご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight221_pdf.pdf

【ロータリーの友 8月号より】

公益財団法人米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地域
合同プロジェクト

ロータリー米山記念奨学
事業の基礎知識
— 奨学金制度編 —

よねやまより



★ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自のプログラムですが、国際ロータリーからも国内全34地区の多地区合同活動として認められています。1967年に財団法人設立、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

★支援の対象は外国人留学生

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2018年4月採用の奨学生数は全国で852人と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界127の国と地域からの留学生2万396人を支援しています（2018年7月1日現在）。

★世界の平和を願って始まった国際奨学事業

事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブ（RC）の当時の会長、古澤文作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。

「米山」とは、「日本のロータリーの父」と呼ばれた米山梅吉氏（1868～1946）のことです。タイから初めて奨学生を迎えたのは2年後の1954年。以降は、海外からの招へいではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京RCの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリー所在国に限らず世界への門戸を開くなど、時代とともに変化しながらも、ロータリアンと外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与するという事業の目的を今日まで貫いてきました。

★最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度

その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の1人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し役となります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。